

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子

令和2年第1回定例会は3月23日に閉会しましたが、修正可決した第20号議案および第23号議案に対して、その後、市長より再議書の提出があり、26日に臨時議会が開催されました。審議の結果、一般会計予算案については可決し、都市再開発事業特別会計予算案はあらためて否決となりました。※裏面をご参照下さい。

令和2年度予算について

～人がつながり、誰もが輝く笑顔あふれる住宅都市・芦屋をめざす～

<予算> 令和2年度の一般会計予算は、前年度に比べて5.4%増の469億1,000万円。予算編成については「創生総合戦略」や「行政改革実施計画」の内容を踏まえ、事業の優先順位の精査と見直し（スクラップ・アンド・ビルド）の徹底を基本方針とすることが示されました。

<一般会計歳入> 市税は、給与所得の伸びや株式譲渡所得により2年連続で増加。229億1,140万円（前年度比2.2%増）に。歳入全体の約49%を占め、他市に比べて高い割合。消費税の引き上げにより地方消費税交付金も増加。また、市債は前年度より約32億円増加し、約67億8,820万円（89.5%増）に。

*市債：家計に置き換えるとローンの借入。

<一般会計歳出> 民生費は、前年度比10.1%増の165億2,367万円。幼児教育・保育の無償化に伴う私立保育所等への助成費や、市立認定こども園の整備費等の増加によります。教育費は精道中学校の建て替え工事費等の増加で、前年度比22.8%増。上小費は戸別給水地区再開工事の推進等により12億4,102万円（前年度比37%増）となりました。

令和2年度の主な事業

子育て・教育	子ども家庭総合支援拠点（保健福祉センター）開設	1,543万円
	産後ケア事業（市立芦屋病院）開始	451万円
	精道中学校建て替え、給食開始の準備	31億8,342万円
	精道・西蔵市立認定こども園（R3.4開園予定）整備	14億1,500万円
	私立認定こども園（朝日ヶ丘幼稚園敷地）建設費助成	1億8,684万円
	岩園幼稚園3歳児保育の準備（試験的実施に向けて）	100万円
防災	南芦屋浜地区高潮浸水被害対策（雨水管の逆流防止）	8,000万円
	下水処理場等耐震化（南海トラフ巨大地震対策）	3億3,466万円
くらし・まちづくり	合葬式墓地、管理棟の建設等（R3開設予定）	4億6,082万円
	芦屋川沿いの道路の無電柱化工事	1億2,675万円
	街路樹の育成・更新に関する計画策定	430万円
	9カ国語対応の自動翻訳アプリ導入による情報発信	55万円
	市制80周年を記念した式典、映画製作	930万円

私からひとこと! 厳しい財政状況のなかにもありながらも、児童虐待の対応を強化するために国が推進している「子ども家庭総合支援室」の開設や市立芦屋病院における「産後ケア」、「街路樹更新計画の策定」など、会派として要望してきた施策が充実する運びとなったことは評価したいと思います。市税収入については、歳入の約49%を占めており、これまでも経済の影響が大きく税収に反映されてきました。今回の新型コロナウイルス感染拡大により予測される経済の激変は、財政収支に現状以上の苦しい状況をもたらすことが考えられるため、今後、公共施設の適正配置、必要事業の見極めなどによる経費の抑制や、新たな財源の確保などの取り組みを一層進めていくことが求められています。



